

# 令和3年度豊中市PTA連合協議会・第3回役員会

Think Different 2021

～夢を叶える、未来のために今できることにチャレンジしよう！～

7月15日（木）19時～教育センター

## 次第

（進行：社会教育課）

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 会長あいさつ             | 吉田会長             |
| 2. 各ブロックより報告          |                  |
| 小学校北部ブロック             | 水野ブロック長          |
| 小学校東部ブロック             | 内村ブロック長          |
| 小学校中部ブロック             | 仙崎ブロック長          |
| 小学校南部ブロック             | 瀧川ブロック長          |
| 中学校北部ブロック             | 森ブロック長           |
| 中学校南部ブロック             | 柴副ブロック長          |
| 副会長会                  | 竹田委員長            |
| 3. 教育委員会より報告          | 道上教育監            |
| 4. 議題案件               |                  |
| ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案 |                  |
| ・副会長会アンケート            |                  |
| ・2/5（土）PTA大会の概要       |                  |
| ・                     |                  |
| 5. その他                |                  |
| ・役員から質疑応答             |                  |
| ・事務局から連絡              |                  |
| ・次回開催日程の確認            | 月 日（ ）19時～教育センター |
| 6. 閉会あいさつ             | 会長代行             |

揺さぶらなきゃ変わりはしないぜ

時代も見え透いたPTAの常識も

N.YOSHIDA

（揺さぶらなきゃ変わりはしないぜ

時代も見え透いた常識も

E.YAZAWA)

## 豊中市 PTA 連合協議会・第3回役員会 議事概要

開催日時：7月15日（木）19時～21時30分

開催場所：教育センター教科教育室

出席者：〈豊中市PTA連合協議会〉（以下、「連P」という）

吉田会長（庄内さくら）、仙崎会長代行（豊島）、  
足立書記（東豊中）、伊関会計（桜塚）、  
中尾広報委員長（島田）、竹田副会長会委員長（16中）、  
山本副会長会副委員長（15中）、後藤生活安全委員長（13中）、  
水野生活安全副委員長（刀根山）、森副会長（8中）、  
西田顧問（桜井谷）、松田顧問（11中）、小山4中PTA会長  
〈豊中市教育委員会〉  
小野局長、道上教育監、大澤社会教育課長、島津副主幹、  
佐々本主査

### ○次第

#### 1. 会長あいさつ

吉田会長から、久しぶりに集合して開催できることを嬉しく思うとともに、感染症対策を取りながら活発な意見交換できる会議開催を続けていきたい旨、挨拶があった。

#### 2. 各ブロックより報告

足立書記（小学校東部）から、学校によってはPTA非会員数が多く、PTA加入への働きかけをお願いしている旨、報告があった。

仙崎会長代行（小学校中部）から、7月3日（土）にブロック研究大会をZoomにて開催し、参加者93名が8ブロックに分かれて有意義な情報交換が行われた旨、報告があった。

併せて、家庭科室の冷蔵庫が故障したのでPTA予算で購入して欲しいとお願いされている単Pがあるが、当該物品の購入について、単P予算からの購入の可否について市教委の考えを教えていただきたい旨、質問があった。

小野局長から、以前校長会議でも連絡しているが、学校施設や教室の備品等の予算は学校が管理する予算で計上する事になっている。一方で、PTAから「何か学校で困っていること、子どもたちのために必要なものがあれば教えて欲しい」と聞かれる場合があると学校から聞いている。学校からPTAに対して学校備品等の購入について依頼があった場合は、PTAで対応する前にまず市教委に相談するよう学校側に促してほしい旨、説明があった。

中尾広報委員長（小学校南部）から、今年度は研究・スポーツ大会を行わないことを決定した旨、報告があった。

併せて、豊中市連P代表として大阪府PTA研究大会「令和3年（2022年）1月15日

（土）開催予定」の実行委員を担っているが、昨年度の講演が好評だったことから今年度も下町ロケットのモデルになった植松様が講演される。また、その研究大会の中で作品展の開催を検討しているの、希望や質問等がある役員は役員グループ Lineに記入いただきたい旨、報告があった。

森副会長（中学校北部）から、会長会で連Pブロック再編について意見交換し、「今のままで良い」「PTA活動のことを考えて再編した方が良い」「ブロック分けを無くし、全中学校で1ブロックにしてはどうか」という意見が出ていること、改めて7月29日（木）の会長会に吉田会長を招いて情報交換したいことについて、報告があった。

併せて、次の2点について、報告があった。

①11月20日（土）にブロック研究大会を棚原安子様の講演を中心に開催すること

②次回の会長会から副会長も入って情報交換を行うこと

小山4中PTA会長（中学校南部）から、7月13日（火）19時からブロック研究大会をZoomで6部屋に分かれて開催し、参加者60名から好評の声を頂いた旨、報告があった。

吉田会長から、単Pではコロナ禍で一層の情報不足となっているため、他校のPTAの情報を得られた貴重な時間になった旨、報告があった。

水野生活安全副委員長（小学校北部）から、7月31日（土）に開催するブロック研究大会の準備を進めている旨、報告があった。

併せて、会長会で連Pブロック再編について意見交換したこと、少路小PTAのベルマーク収集作業では児童の事前作業により委員の作業が軽減されたことについて報告があった。

### 3. 教育委員会より報告

道上教育監から、以下の事項について報告があった。

- （1）昨年度はコロナ禍で実施できなかった修学旅行について、今年度は感染対策を徹底して行っているが、9月に実施予定の学校は第五波が来た場合の影響を懸念している。
- （2）夏季休業中にタブレットを自宅に持ち帰り、勉強に活用いただきたい。様々な課題が予想されるが、今後の改善材料として受け止めていきたい。
- （3）毎朝の検温等、学校と保護者の連絡ツールとして、保護者負担が軽減されるようなものを考えている。
- （4）緊急事態の宣言や解除等により、国から府、府から市、市教委から学校（保護者）へと順次連絡しているが、国の文書が発出される曜日の都合で学校から保護者へのお知らせ文書が土日になるのが今後も続く事を了承いただきたい。

小野局長から、以下の事項について報告があった。

- （1）「大阪市内の学校でタイルが落ちる」という事案を受け止め、豊中市の学校も点検したが、緊急的に工事が必要な学校は無かった。

(2) 令和4年の2学期から中学校給食の実施を開始する予定であり、事業者の選定等を行っている最中である。

(3) 令和10年の開館をめざしている中央図書館構想について、長期計画であるが、令和3～4年度で場所の選定を行う予定であり、今後も情報提供していきたい。

大澤社会教育課長から、6月の市議会本会議の個人質問において、市の人権担当部局に対し、「PTAの役員選出の際、家庭状況等に関係なく強制されたり、免除理由の公開等を求められる場合があるようだが、このことについて人権的な視点で問題ありとお考えかどうか所見を聞きたい」との質問があった。担当部局は「各PTAでそうした課題が生じた場合はそれぞれの団体に自律的・自主的に解決に向けて取り組んでいるが、市としても解決に向けた新たな情報や仕組みを提供し、団体が民主的な運営ができるよう援助していきたい。また、こうした課題を教育委員会とともに受けとめ市議会で議論となったことをPTAにもお伝えする。」との回答をした旨、報告があった。

西田顧問から、タブレットだけでなくSNS等の児童生徒の利用に関しては、保護者の見守りが必要である旨、情報提供があった。

併せて、野畑図書館の今後の運営について質問があった。

小野局長から、野畑図書館については、現在、本の選書や全館の書庫機能を有しているが、これらについては、中央図書館に移すなど、機能を見直していくことになる。「野畑図書館がなくなってしまうのではないか」といったご心配の意見が寄せられているが、野畑エリアにおいては、引き続き図書館機能が必要であることは認識している旨、回答があった。

仙崎会長代行から、単Pの年度初めの役員会等で「PTAの必要性」を謳って各役員には必要性を理解いただいているので、連Pの役員会やホームページ、各活動の中で発信していきたい旨、発言があった。

伊関会計から、人権協の常任委員の選出について質問があった。

大澤社会教育課長から、人権協の委員の選出について各学校で苦慮されていることは認識しているが、改めて人権協の役員会等に情報提供してまいりたい旨、回答があった。

吉田会長から、「人権協の必要性」について、何らかの形でどこかの場で説明いただきたい旨、発言があった。

大澤社会教育課長から、人権協の役員に連Pから本要望があることを伝える旨、回答があった。

#### 4. 議題案件

- ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案

吉田会長から、小中一貫校の庄内さくら学園の開校や統廃合に伴うブロック間の学校数の偏りが生じていることから、2年後に実施するブロックの再編（案）について説明があった。

水野生活安全副委員長から、再編（案）の基準について質問があった。

事務局から、学校数の偏りを解消するため、現時点で小・中学校南部を増やす案となっているが、地図上の距離を勘案して現在のブロックから他ブロックへの移動を一部行うなどを考えていること、名称は豊中市全体として分かりやすいものにしていくことについて回答があった。

伊関会計から、小学校ブロックは北・中・南の3ブロックに縮小してはどうかとの発言があった。

吉田会長から、小学校を3ブロック、中学校を1ブロックにすれば連P役員等の業務軽減にも繋がる部分もあるので、今後の判断材料としたい。現時点では小学校と中学校のブロックを別にする事が決まっているだけで、再編（案）を今年度に決定し、来年度は周知期間としたいので、改めて各ブロックから様々な意見をいただきたい旨、発言があった。

#### ・副会長会アンケート

竹田副会長会委員長から、2年前までは各学校の副会長が集まって情報交換会を開催していたが、コロナ禍により今年度も、入退会届や役員選出や会議等のオンライン化について副会長会アンケートを実施して他校と情報交換したい旨、提案があった。

後藤生活安全委員長から、アンケートにある、オンライン会議の諸経費の出処や他校と情報共有したい事も聞いてみたい旨、発言があった。

竹田副会長会委員長から、その内容を追記したい旨、発言があった。

伊関会計から、このアンケート結果の活用方法について質問があった。

竹田副会長会委員長から、今回を第1回アンケートとして結果を集計して、その中から関心の高いものを選んで、第2回アンケートを実施し改めて情報交換に役立てたい旨、発言があった。

吉田会長から、昨年度は副会長会アンケートでの回答で「他校の成功事例を聞きたい」との意見が多かったので、PTA大会で「事例発表」「表彰」「パネルディスカッション」といった企画を立案し、様々なPTA活動で活用できた旨、発言があった。

#### ・2/5（土）PTA大会の概要

吉田会長から、昨年度のPTA大会の実施内容について、副会長会アンケートを参考に企画したプログラムやWEB開催のシステムやPTA大会アンケートの結果が大変好評であったことについて説明があった。

伊関会計から、PTA大会の開催意義等について質問があった。

吉田会長から、「PTAについて、特に豊中市のPTAは他とは違うということを知

ってもらう」「上手くいっているPTA活動を参考にしてもらう」ことである。昨年度は副会長会アンケートで浮き彫りになった問題点を精査（マーケティング）し、当該問題点の解決策として「他校のPTAとの情報交換」の場を作った（マネジメント）。さらに各種表彰を実施することで「単P活動の活性化への目標」の場（モチベーションアップ）になること、まさに他にはないPTA大会である旨、発言があった。

事務局から、昨年度開催した文化芸術センター（阪急曽根駅）の小ホールを予約済みであるが、WEB開催するなら地域共生センター（阪急岡町駅）の大会議室でPTA大会を開催する方が施設面で望ましく、その大会議室を予約する事について提案があり、承認された。

## 5. その他

### ・役員から質疑応答

小山4中PTA会長から、以下の事項について報告があった。

- (1) 4中PTA規約に「教職員が転任する際に当該校の勤務年数に応じてPTAから功労金が支払われる」と記載されていること
- (2) 4中が得たPTA会員の個人情報の取扱いに問題があると懸念されること
- (3) 上記に関して、規約改正や個人情報の取扱い注意をPTA担当教員に意見した所、複数回の長文メールが届いた。

道上教育監から、上記の事例に関して、内容を精査した上で時間を頂いて個別に回答したい旨、発言があった。

吉田会長から、現場の単P会長がPTA活動をしやすいように改善していくのが、連P役員の役割だと考えている。今回、小山4中PTA会長から情報提供いただいたことを踏まえ、本来であれば、単Pの問題は会長及び校長が中心となり単Pでの解決が望ましいが、単Pでの解決に支障が生じる場合は教育委員会へ報告し、それでも解決しない場合は連Pで議論してはどうかと小山会長に提案した。その後、当該提案を受け、小山4中PTA会長から単P、校長、教育委員会に申し出するも解決せず、教育委員会の担当者から「PTAは任意団体なので、PTAの規約内容や規約改正については、PTAの中で話し合ってもらいたい。」との発言があったことを踏まえ、今回本会議で発言頂くこととなった旨、補足説明があった。

伊関会計から、安全互助制度に熱中症や食中毒が対象外なのは理解しているが、夏季休業中プール開放事業での熱中症の保険について質問があった。

事務局から、夏季休業中プール開放事業での事故・ケガ・熱中症等に関しては、参加者全員に対して全国市長会市民総合賠償補償保険と学校教育課で加入する熱中症危険保障特約付き普通傷害保険が適用される旨、回答があった。

併せて、豊中市連Pの安全互助制度（掛金@63円×家庭数）の対象内容がこれらの保険と似かよっていること、さらに年度初めに紹介している熱中症を補償対象に加えた大阪府PTA安全会活動補償制度（掛金@100円×家庭数）があり、58校中

1校が豊中市連P安全互助制度から大阪府PTA安全会活動補償制度に移行されていることについて、報告があった。

併せて、保険会社からPTA活動に役立つ情報（食中毒を対象とする保険等）があれば、随時事務局から情報提供する旨、発言があった。

#### ・事務局から連絡

事務局から、以下の事項について報告があった。

(1) PTA活動の任意性・入退会届の必要性・同意のない役員選出の強要等について単Pへ指導をして欲しいとの問合せがあり、「教育委員会は指導できる立場にない」旨の回答をした所、該当する学校長や連P役員会へ情報提供して欲しいとの要望があったこと

(2) PTAを退会した場合の卒業記念品の受取り等について問合せがあり、「PTAの加入状況により児童生徒が不利益を被ってはならない」旨、回答をした。その後、問合せ会員と単P会長で話し合うということとし、単Pから、問合せ会員に様々な活動をしている事について説明を行った旨、報告があったこと

(3) 日本PTA協議会主催の「三行詩の募集」について、大阪府PTA協議会に提出した小学生部門の3作品の3名の児童に表彰状を送る予定であること

吉田会長から、(1) (2) について、個別案件については、まずは当該校PTAで解決するのが先決であり、当該校のPTAで話し合ってもらい、それでも解決しないならこちらの会議でみなさんからご意見を聞く。それを参考にPTA活動をする。ただ、解決は当該校でしていただくのが前提である旨、発言があった。

#### ・次回開催日程

事務局から、次回役員会の開催について提案があり、8月26日（木）19時～教育センターで「第4回役員会」を開催することとした。

#### 6. 閉会あいさつ

仙崎会長代行から、有意義な単P活動・連P活動ができるよう、今後も様々な情報交換ができる役員会にしたい旨、挨拶があった。